

入札仕様書

ベッドサイドモニタ及びセントラルモニタの購入

令和 8 年 2 月

南和広域医療企業団

第1 物品名及び数量

ベッドサイドモニタ(CSM-1702)及びセントラルモニタ(CNS-2101)一式

第2 総則

- 1 本機器が完全に稼働するために必要な本機器の納入にかかる経費をはじめ、運搬費、搬入費、据付費、ネットワーク作業費及び調整費等を含めた作業に要する経費、養生材料費、報告書作成費、操作等の説明または教育に要する経費等の諸経費を含めた経費は、全て落札者が負担すること。
- 2 本機器におけるアプリケーション等については、納品時点における最新の仕様で納品すること。
- 3 本機器の設置に当たっては、南和広域医療企業団(以下「企業団」という。)の承認を受けてから設置工程に入ること。

第3 本機器の構成及び機能要件

- 1 調達機器名 日本光電工業株式会社製ベッドサイドモニタ(CSM-1702)及びセントラルモニタ(CNS-2101)一式
(機器構成) 別紙のとおり。
- 2 機能要件
本機器の構造・機能に関し、下記の機能要件を全て満たすことを必須とする。
既存富士フィルムメディカル社製 Precient OR と MEGW のバイタル数値連携を行うこと。

ベッドサイドモニタの概要

- 1-1 ハード構成に関しては以下の要件を満たすこと。
 - 1-1-1 本体部とディスプレイ部が一体型であること、また生体情報入力部が分離でき自由な配置レイアウトが可能であること。
 - 1-1-2 ディスプレイ部は、対角 19 インチ以上、解像度 1680×1050dot 以上の液晶ディスプレイであること。
 - 1-1-3 1 台で心電図、呼吸、非観血血圧、経皮的動脈血酸素飽和度、二酸化炭素分圧、体温、観血血圧、心拍出量、筋弛緩（加速度、筋電図方式対応すること）を同時に測定できる複合ユニットを有していること。
 - 1-1-4 以下の 8 つの測定項目のうち任意の 1 項目を選択して測定するコネクタ口を 3 つ有していること。
BIS/観血血圧/呼気終末期二酸化炭素分圧/体温/心拍出量/呼吸/筋弛緩（加速度、筋電図方式対応すること）

1-1-5 本体部はファンレスであること。

1-2 画面表示に関しては以下の要件を満たすこと。

1-2-1 17 トレース以上の表示が可能であること。

1-2-2 各測定項目の表示色を 32 色以上から選択可能であること。

1-2-3 測定項目ごとにパラメータウィンドウを用意し、各測定項目の詳細な情報が確認できること。

1-2-4 モニタリング画面上に各測定項目のアラーム設定値の表示が可能であること。

1-2-5 現在の状態と過去の状態を同時に参照するため、波形表示領域をタッチすることにより表示されるトレンド機能を有し、かつ表示幅の変更を同様にタッチするだけで行える機能を有すること。

1-2-6 操作メニューの表示は日本語であること。

1-2-7 ベッドの足下からも見えることを考慮し数値拡大機能を有し、かつカスタマイズキーに割り当てワンタッチで表示する機能を有すること。

1-2-8 画面上にリアルタイム波形を隠すことなくトレンド画面やバイタルリスト等のレビューデータが同時表示可能なこと。

1-2-9 画面レイアウトは 3 種類以上設定できること。

1-2-10 カスタマイズキーは最大 20 個登録できること。

1-2-11 画面を USB メモリにキャプチャーできること。

1-3 操作性に関しては以下の要件を満たすこと。

1-3-1 タッチパネル/赤外線リモコンによる操作が可能であること。

1-3-2 必要に応じて、マウスによる操作も可能であること。

1-3-3 赤外線リモコンのチャンネル切り換えによりリモコン 1 台で複数のベッドサイドモニタをそれぞれ操作可能であること。

1-3-4 赤外線リモコンに 6 つ以上のショートカットキーを有し、よく使用する機能を割り当てることができること。

1-3-5 赤外線リモコンによるモニタの電源の ON/OFF が可能であること。

1-3-6 フリック操作による画面操作が可能なこと

1-4 測定項目に関しては以下の要件を満たすこと。

1-4-1 心電図/呼吸/経皮的動脈血酸素飽和度/非観血血圧/観血血圧/体温/呼気終末期二酸化炭素分圧/心拍出量/BIS (2ch) /脳波/筋弛緩（加速度、筋電図方式対応すること）/混合血酸素飽和度の測定が可能であること。

1-4-2 以下の測定項目の波形表示が可能であること。

心電図/呼吸曲線/脈波/観血血圧波形/CO2 分圧曲線/脳波 (BIS による 2ch)

1-4-3 以下の数値表示が可能であること。

心拍数/V P C 数/ S T レベル/呼吸数/非観血血圧値(最高・最低・平均)/観血血圧値(最高・最低・平均)/経皮的動脈血酸素飽和度値/心拍出量/呼気終末期二酸化炭素分圧値/吸入酸素濃度/脈拍数/体温/BIS

1-4-4 麻酔ガス濃度の測定が可能であること。

1-4-5 意識レベルの指標である BIS(BispectralIndex)の測定が外部機器取込ではなくモニタ自身にて測定可能であること。

1-4-6 心電図測定に関しては以下の要件を満たすこと。

1-4-6-1 不整脈解析機能を有しており、解析のための基準心電図を表示する機能を有すること。

1-4-6-2 心拍同期をディスプレイ上部に付属した LED の点滅にて表示する機能を有すること。

1-4-6-3 不整脈解析項目は 24 項目以上であること。

1-4-6-4 A-FIB 解析機能を有すること。

1-4-6-5 QTc/QRSd 計測機能があること。

1-4-7 呼吸測定に関しては以下の要件を満たすこと。

1-4-7-1 インピーダンス方式にて計測する機能を有すること。

1-4-7-2 インピーダンス方式でインピーダンス変化の捕らえやすい電極間を選んで計測する誘導切替機能を有すること。

1-4-7-3 呼吸数はより信頼性の高いパラメータをもとに自動的に切り換えて計測を行う機能を有すること(CO₂を測定している場合にはCO₂曲線をもとに呼吸数を計測すること)。

1-4-8 経皮的動脈血酸素飽和度測定に関しては以下の要件を満たすこと。

1-4-8-1 リユーザブルセンサは、薬液などに汚れても水洗い/浸漬消毒できる防水構造であること。

1-4-8-2 SpO₂ 基本画面に PI(脈動率)が表示できること。

1-4-9 非観血血圧測定に関しては以下の要件を満たすこと。

1-4-9-1 手動/定時/連続にて測定が可能であり、定時測定は正時に合わせた測定ができる(5 分間隔測定を 10:03 から始めたら 2 回目以降の測定は 10:05,10:10,10:15 と測定すること)。

1-4-9-2 測定されたデータに対し 10 分以上経過した場合に計測値の輝度を落とし古いデータであることを認知することができること。

1-4-9-3 脊椎くも膜下麻酔用に第 1 ステージの測定間隔と持続時間および第 2 ステージの測定間隔をプログラムする事ができるルンバールモードを有すること。

1-4-9-4 脈波伝播時間(心電図の R 波から脈波の立ち上がりまでの時間)の変化をトリガーとして自動測定する機能を有すること。

1-4-9-5 基本画面にオシレーショングラフを表示でき、設定にて表示の ON/OFF ができる機能を有すること。

1-4-9-6 昇圧式の血圧測定方式があること。

1-4-10 観血血圧測定に関しては以下の要件を満たすこと。

1-4-10-1 複数の血圧の 0 校正を同時に行う機能を有し、カスタマイズキーに割り当てワンタッチで行うことが可能であること。

1-4-10-2 中継コード部分に記憶媒体を装備しており 0 校正値を記憶し、コネクタの抜き差しによる再度の 0 校正が必要ないこと。

1-4-10-3 中継コード部分に記憶媒体を装備しており血圧ラベル名を記憶し、中継コードの抜き差しによる再度のラベル設定が必要ないこと。

1-4-10-4 最大 3 c h の血圧が測定できること。

1-4-10-5 メインストリーム方式の CO₂ 値を利用し、呼吸性変動の少ない、安定した呼気終末(end-tidal)の CVP MEAN を算出できること。

1-4-10-6 PPV(PulsePressureVariation)又は SPV(SystolicPressureVariation)表示が可能なこと。

1-4-11 体温測定に関しては以下の要件を満たすこと。

1-4-11-1 中継コード部分に記憶媒体を装備しており体温ラベル名を記憶し、中継コードの抜き差しによる再度のラベル設定が必要ないこと。

1-4-11-2 2ヶ所の体温が測定できること。また、2つの差温を計測表示できること。

1-4-12 呼気終末期二酸化炭素分圧(メインストリーム)測定に関しては以下の要件を満たすこと。

1-4-12-1 メインストリーム方式で測定ができること。

1-4-12-2 ウォーミングアップ時間は 15 秒以内であること。

1-4-12-3 測定中も自動的にセンサの校正を行う機能を有すること。

1-4-12-4 非挿管患者においても応答性の早いメインストリーム方式にて測定するセンサを有すること。

1-4-12-5 非挿管患者においてメインストリーム方式により口鼻呼吸同時測定可能であること。

1-4-13 心拍出量測定に関しては以下の要件を満たすこと。

1-4-13-1 液体の注入を認識し、自動的に測定を開始する機能を有すること。

1-4-13-2 脈波伝播時間(心電図の R 波から脈波の立ち上がりまでの時間)を使用し、心拍出量を算出可能なこと。

1-4-14 BIS 測定に関しては以下の要件を満たすこと。

1-4-14-1 外部機器接続や専用モジュールを必要とせず複数のパラメータを自動認識/測定するコネクタにて測定が可能であること。

1-4-14-2 脳波 2ch の波形表示、かつ DSA (Density Spectral Array) 表示が可能である

こと。

1-4-14-3 BIS 測定時、以下の数値表示が可能であること。

BIS、95%スペクトルエッジ周波数(SEF95)、サプレッション率(SR)

1-4-15 麻酔ガス測定に関しては以下の要件を満たすこと。

1-4-15-1 麻酔ガス濃度測定時、以下の数値表示が可能であること。

吸気・呼気二酸化炭素分圧/吸気・呼気酸素濃度/吸気・呼気笑気濃度/吸気・呼気麻酔ガス濃度

1-4-15-2 麻酔ガス濃度に関しては以下のガス測定とアラーム設定が可能であること。

ハロセン、イソフルラン、エンフルラン、セボフルラン、デスフルラン

1-4-15-3 1分間以内のウォーミングアップでCO₂を測定することができる

1-4-15-4 成人用/新生児用ウォータートラップを接続することにより、各々のサンプリング流量に自動設定される機能を有すること。

1-4-15-5 サンプリング流量は70~200mL/minで設定可能であること。

サンプリング流量は成人の場合は200mL/min、新生児の場合は100mL/minであること。

1-4-15-6 濃度の高い順番に2種類の麻酔ガス濃度を同時表示可能であること。

1-4-15-7 麻酔ガスの種類を自動認識して、使用中のガス種別を表示して濃度測定ができる

1-4-16 筋弛緩測定に関しては以下の要件を満たすこと。

1-4-16-1 専用のプログラムモードを有し、筋弛緩測定(TOF、PTC)が可能なこと。

1-5 アラームに関しては以下の要件を満たすこと。

1-5-1 アラームは、重要度に応じて3段階にて通知する機能を有すること。

1-5-2 アラーム発生時には、画面表示や音だけでなくLEDによる通知が行えること。

1-5-3 LEDは360度のどの角度からも確認できること。

1-5-4 アラームの設定パターンを登録し、呼び出し設定ができる機能を有すること。

1-5-5 アラームの重症度を変更する機能を有すること。

1-5-6 インターベッド機能使用時、インターベッド先のベッドでアラームが発生した場合、画面上にインターベッドアラームの表示が可能のこと。また表示条件を緊急度に応じて3段階にて設定可能であること。

1-5-7 アラーム患者タイプ(成人、小児、新生児)毎に4種類のアラーム設定値を記憶させ、アラーム値として書き込みが可能であること。

1-5-8 アラーム継続時間または値によってアラームプライオリティをエスカレーションさせる機能を有すること。

1-5-9 SpO₂値がアラーム上下限設定範囲に達してから、アラームが発生するまでの時間を設定できること。

1-6 データ保存に関して以下の要件を満たすこと。

1-6-1 データ保存はトレンドグラフ/バイタルサインデータリスト/不整脈リコール/長時間波形記憶/STリコール/血行動態リスト/アラーム履歴を有すること。

1-6-2 保存されているデータは同一時間軸に対する展開が可能であること。

1-6-3 トレンドグラフ/バイタルサインデータリストに関して以下の要件を満たすこと。

1-6-3-1 72時間分のデータを保存可能であること。

1-6-3-2 1分単位の計測値がバイタルサインデータリストとして表示できること。

1-6-3-3 トレンドグラフでカーソルの箇所のバイタルサインの数値表示する機能があること。

1-6-3-4 非観血血圧が測定された時間のバイタルサインデータリストのみを表示できること。

1-6-4 不整脈リコールに関しては以下の要件を満たすこと。

1-6-4-1 リコール件数は16384件以上であること。

1-6-4-2 リスト表示の際に、発生時間、不整脈種類、圧縮波形が表示され、選択し拡大表示が可能であること。

1-6-4-3 選択したリコールが発生した際のバイタルデータを表示する機能を有すること。

1-6-4-4 解析項目は24種類以上であること。

1-6-5 長時間波形保存に関しては以下の要件を満たすこと。

1-6-5-1 ベッドサイドモニタ本体で心電図、観血血圧×2、呼吸曲線など5波形以上の連続波形を72時間以上保存可能であること。

1-6-5-2 選択された時間の波形を拡大表示する機能を有すること。

1-6-5-3 イベント発生を選択し、イベント発生時の波形にスキップし効率的に参照することができるであること。

1-6-6 STリコールに関しては以下の要件を満たすこと。

1-6-6-1 保存間隔は1分間隔で、最大12誘導分保存可能であること。

1-6-6-2 STリコールは4320件以上保存可能であること。

1-6-6-3 波形の変化を比較するため指定した時間の波形をリファレンス登録し並べて表示することができるうこと。

1-6-7 血行動態データリストに関しては以下の要件を満たすこと。

1-6-7-1 リスト件数は1024件以上であること。

1-6-8 アラーム履歴に関しては以下の要件を満たすこと。

1-6-8-1 アラームが発生した際の履歴をリストとして16384件分以上保存する機能を有すること。

1-6-8-2 アラーム履歴には発生日時、アラーム発生パラメータ、アラーム内容が表示されること。

1-6-8-3 リストから選択したアラーム履歴の時刻を元にトレンド、長時間波形を参照することができるすこと。

1-7 記録に関しては以下の要件を満たすこと。

1-7-1 測定している波形を 3ch 同時記録することが可能なサーマルアレイレコーダを有すること。

1-7-2 サーマルアレイレコーダによりトレンドグラフ/バイタルサインデータリスト/不整脈リコール波形/長時間波形記憶における圧縮波形・拡大波形/血行動態データリスト/心拍出量希釈曲線(ボーラス測定時)の記録が可能であること。

1-8 その他の機能、性能に関しては以下の要件を満たすこと。

1-8-1 セントラルモニタと有線 LAN にて通信が可能であること。

1-8-2 患者のストレスを軽減するためスリープモード機能を有していること。

1-8-3 スリープモードにおいて緊急アラーム発生時のみスリープモードが解除される機能を有すること。

1-8-4 スリープモードにおいて指定した時間にスリープモードを解除する自動解除時刻設定機能を有すること。

1-8-5 ネットワークに接続された他のモニタで測定されている生体情報を参照できるインターベッド機能を有すること。

1-8-6 インターベッド機能により同時に 20 台以上のモニタの生体情報を参照できること。

1-8-7 瞬断対策のため最大 3 分稼働可能なバッテリが搭載可能のこと。

1-8-8 搬送を考慮してバイタル入力部が独立したモニタとして使用可能のこと。また、そのモニタがバッテリ駆動で約 5 時間使用が可能であること。

セントラルモニタの概要

2-1 ハード構成に関しては以下の要件を満たすこと。

2-1-1 対角 23.8 インチ以上、解像度 1920×1080dot 以上の液晶ディスプレイを有していること。

2-1-2 液晶ディスプレイはアスペクト比 16:9 のディスプレイであること。

2-1-3 本体部は W610×H381×D99 mm 以下であり、本体、ディスプレイが一体化で棚置設置可能のこと。

2-1-4 マグネットプレート機能があり、ネームプレートを取り付けることでネームプレートマーカにて患者情報等が記載できること。

2-1-5 本体ディスプレイにはアラームインジケータが内蔵されていること。

2-1-6 データ保存にはストレージは SSD を採用していること。

2-1-7 本体液晶ディスプレイは映り込みを低減し見やすくなるよう、アンチグレア処理を

施していること。

2-1-8 瞬停対策としてのバッテリが内蔵されていること。

2-2 患者管理に関しては以下の要件を満たすこと。

- 2-2-1 1ディスプレイで最大16人まで管理及び表示が可能であること。
- 2-2-2 ネットワーク上のモニタを任意に選択しモニタリングできること。
- 2-2-3 必要に応じて常時管理している患者以外のネットワーク上の患者データを参照する機能を有すること。
- 2-2-4 再入床機能があること、また再入床の際に退室前のベッドでなくても空いているベッドで再入床できること。
- 2-2-5 ベッド移動機能及びベッド交換機能があること。

2-3 全画面表示に関しては以下の要件を満たすこと。

- 2-3-1 2/4/6/8/12/16人用の表示画面切り替えが可能であること。
- 2-3-2 24人表示までは全画面表示では波形表示ができること。
- 2-3-3 各患者に個人設定キー/記録キーを有していること。
- 2-3-4 各個人のベッド名背景色はグループ分けをするために患者毎に色変更を行うことが可能であること。
- 2-3-5 表示させる波形項目、数値項目を設定することが可能であること。
- 2-3-6 数値表示領域のサイズを2段階以上選択できる機能を有すること。
- 2-3-7 表示する測定項目の順序を変更できること。
- 2-3-8 表示する測定項目の表示優先順位の設定が可能で、かつ測定している項目に合わせて自動表示する機能を有すること。
- 2-3-9 患者名の表示サイズを2段階以上選択できる機能を有すること。
- 2-3-10 画面上に患者毎の個別アラーム解除キーを有していること。
- 2-3-11 各患者に過去最大120時間までのアラームイベントを最大32人まで同時に参照できる全患者アラームイベント画面を有すること。
- 2-3-12 全患者アラームイベント表示幅は、最大120時間分まで切り替えて表示可能であること。
- 2-3-13 全患者アラームイベント表示項目は、上下限、不整脈、テクニカルを切り替えて表示可能であること。
- 2-3-14 全患者アラームイベント画面において、過去1時間におけるテクニカルアラームの数から3段階の色により測定状態を表示する機能を有すること。
- 2-3-15 最大16人までの全患者上下限設定画面を有すること。
- 2-3-16 全患者上下限設定画面から任意の患者を選択し、直接個々の患者のアラーム設定

画面に遷移できること。

- 2-3-17 全患者アラームイベント画面および全患者上下限設定画面において、各患者をグループ毎に表示することが可能であり、かつグループ毎に応じたベッド名背景色を設定可能であること。
- 2-3-18 全患者画面で患者枠ごとに設定可能なショートカットキーを表示させる機能を有すること。

2-4 個人画面表示に関しては以下の要件を満たすこと。

- 2-4-1 最大 16 トレースの波形表示が可能であること。
- 2-4-2 測定中の数値(最大 120 パラメータ)のバイタルサインが表示できること。
- 2-4-3 表示する波形項目を患者毎に選択する機能を有すること。
- 2-4-4 表示する測定項目の順序を変更できること。
- 2-4-5 表示する測定項目の表示優先順位の設定が可能で、かつ測定している項目に合わせて自動表示する機能を有すること。
- 2-4-6 操作メニューの表示は日本語であること。

2-5 操作性に関しては以下の要件を満たすこと。

- 2-5-1 タッチパネルによる操作が可能であり、かつ個人画面において波形をタッチすることにより感度、スケール変更画面、数値をタッチすることによりアラーム設定画面へ移行する操作性であること。
- 2-5-2 必要に応じて、キーボード/マウスによる操作も可能であること。
- 2-5-3 フッタカスタマイズキーはメニューキーのすべての機能から選択でき、9つ以上を設定できること。
- 2-5-4 各レビュー参照には選択した同時間軸でのデータを表示する機能を有し、実波形表示は最大 7 トレース表示できること。

2-6 測定項目に関しては以下の要件を満たすこと。

- 2-6-1 ベッドサイドモニタにより測定された以下の測定項目の波形表示が可能であること。
心電図/呼吸曲線/脈波/観血血圧波形/CO2 分圧曲線
- 2-6-2 以下の測定項目の数値表示が可能であること。
心拍数/VPC 数/ST レベル/QTc/ORSd/呼吸数/非観血血圧値(最高・最低・平均)/
観血血圧値(最高・最低・平均)/経皮的動脈血酸素飽和度値/脈拍数/体温/心拍出量
/呼気終末期二酸化炭素分圧
- 2-6-3 有線ベッドサイドモニタにより測定された以下の測定項目の数値表示が可能であること。

吸気・呼気二酸化炭素分圧/吸気・呼気酸素濃度/吸気・呼気笑気濃度/吸気・呼気麻醉ガス濃度

2-6-4 有線ベッドサイドモニタにより測定された BIS の数値表示が可能であること。

2-7 アラームに関しては以下の要件を満たすこと。

2-7-1 アラーム発生時には、画面表示や音だけでなく、本体ディスプレイ上部に内蔵したアラームインジケータによる通知が行えること。

2-7-2 アラームの表示は、重要度に応じてその通知レベルに段階を設ける機能を有すること。

2-7-3 アラーム発生時は、重症度に応じてアラームインジケータの点滅・点灯及び該当患者枠を枠色にて点滅し通知することが可能であること。

2-7-4 複数の患者で重症度のことなる上位 2 段階のアラームが同時に発生した際は、最重症アラーム該当患者枠が点滅し、軽症アラーム該当患者枠は点灯のみを行うこと。

2-7-5 上下限アラーム設定画面で、測定値の過去 4 時間分のトレンドグラフ表示が可能のこと。

2-7-6 アラームインジケータは 360 度のどの角度からも確認できること。

2-7-7 アラームインジケータは重症度に応じて 3 パターン以上の通知パターンを有していること。

2-7-8 過去に発生したアラームに対して患者枠内にアイコンを表示し、アラームが発生していたことを知らせる機能を有すること。

2-7-9 上記アイコンによりアラーム発生内容をアラーム音終了後でも確認できるアイコンを有すること。

2-7-10 ECG 又は SpO2 のテクニカルアラーム発生した際表示できる、テクニカルアイコン表示機能を有すること。

2-7-11 通常のアラーム音量の設定とは別に、パスワードにより保護されたアラーム最低音量を設定する機能を有し、一定音量以下に下げられない配慮がなされていること。

2-8 データ保存に関して以下の要件を満たすこと。

2-8-1 データ保存はトレンドグラフ/バイタルサインデータリスト/不整脈リコール/長時間波形記憶/SpO2 トレンド/12 誘導解析/ST レビュー/血行動態リスト/アラーム履歴及びアラームイベントを有すること。

2-8-2 保存されているデータは同一時間軸に対する展開が可能であること。

2-8-3 アイコン化されたレビュー選択レビューで変更できる機能を有すること。また、個々のデータ表示は同一時間軸での表示させる機能を有すること。

- 2-8-4 トレンドグラフ/バイタルサインデータリストに関して以下の要件を満たすこと。
- 2-8-4-1 最大 120 時間分のデータを記憶可能であること。
- 2-8-4-2 トレンドグラフは 7 パラメータ以上の同時表示が可能であること。
- 2-8-4-3 1 分単位の計測値が 8 件分以上バイタルサインデータリストとして同時表示できること。
- 2-8-4-4 バイタルサインデータは 16 パラメータ以上同時表示が可能であること。
- 2-8-4-5 バイタルサインデータ表示間隔は 1/2/5/10 /15/30/60 分の切り替えが可能であること。
- 2-8-4-6 非観血血圧が測定された時間のバイタルサインデータリストのみを表示する機能を有すること。
- 2-8-5 不整脈リコールに関しては以下の要件を満たすこと。
- 2-8-5-1 リコール件数は 1 患者あたり 1500 件以上を管理人数分保存可能であること。
- 2-8-5-2 不整脈の種類により選択表示が可能であること。
- 2-8-5-3 一覧表示機能として、最大 14 ファイルまで表示できる機能を有すること。
- 2-8-5-4 一覧表示で選択したリコールに関して拡大表示が可能であること。
- 2-8-5-5 実波形画面においては、表示されたリコール波形の高さ、幅を測定する機能を有すること。
- 2-8-5-6 実波形表示されたリコール波形にコメントを残す機能を持つこと。
- 2-8-5-7 不要なリコール波形をマニュアル操作により消去する機能を有すること。
- 2-8-5-8 解析項目は 24 種類以上であること。
- 2-8-6 長時間波形記憶に関しては以下の要件を満たすこと。
- 2-8-6-1 各患者につき 16 波形を 120 時間分記憶可能であること。
- 2-8-6-2 1 画面に 1 波形表示時、最大 36 分以上の表示が可能であること。
- 2-8-6-3 退床後の直近の患者データを最大 16 波形・120 時間/人×16 人分を保持でき、保持されているデータがある場合は再入床可能なこと。
- 2-8-6-4 不整脈によりアラームが発生した部分の波形を重症度に応じて 3 段階以上のレベルに色分けし表示する機能を有すること。
- 2-8-6-5 効率良く波形を参照するために自動スクロール機能を有すること。
- 2-8-6-6 実波形表示された波形の高さ、幅を測定する機能を有すること。
- 2-8-7 ST リコールに関しては以下の要件を満たすこと。
- 2-8-7-1 120 時間分の ST リコールデータを保存できること。
- 2-8-7-2 256 件分の血行動態データリストが保存できる機能を有していること。

2-9 記録に関しては以下の要件を満たすこと。

- 2-9-1 ネットワークプリンタにて、トレンドグラフ/バイタルサインデータリスト/不整脈リコール波形/長時間波形/アラーム履歴及びアラームイベントの印刷が可能であ

ること。

2-9-2 ネットワークプリンタにて、圧縮波形画面にて表示している最大 16 波形以上の圧縮波形を印刷する機能を有すること。

2-10 ベッドサイドモニタとの通信に関しては以下の要件を満たすこと。

2-10-1 ベッドサイドモニタにより測定されたデータを有線 LAN にて通信できる機能を有すること。

第4 本機器の性能等以外の要求要件

1 設置条件

本機器の設置条件は、以下の要件を満たすこと。

- ア 企業団担当者が指定する場所へ設置すること。
- イ 契約締結後速やかに、搬入日時及び搬入経路等について、企業団担当者と協議し、その結果を書面にて報告すること。
- ウ 物品の搬入・設置等に際しては、病院業務に支障をきたさないよう企業団担当者の指示に従うこと。また、施設・設備等に損傷を与えないよう細心の注意を払うこと。
なお、万一損傷等を与えた場合は、直ちに企業団担当者へ報告し、落札者の費用負担により速やかに原状回復を行うこと。
- エ メーカー名・規格・型番等が明確に確認できるものを用意しておくこと。確認できない場合は、検査不合格とする。
- オ 医療情報システムに接続する必要がある場合は、接続関連費用を本調達内に含めること。
- カ IP アドレス設定は、病院体系に従うこと。
- キ 落札者の責任範囲については、設置場所への搬入、据付、配線接続、試運転調整及び動作確認等を行うこととする。
- ク 接続に関連する仕様確認、テスト、リハーサル立会及び本稼働立会などの業務を行うこと。
- ケ 落札から納入までに装置の仕様変更やソフトのバージョンアップがあった場合は、企業団と協議の上、最新の仕様にて引き渡すこと。
- コ 設置に際して、設置室内等の変更工事（1次側電源工事等も含む。）が必要となる場合は、全て落札者の責任として本装置の稼働に支障が無いように工事、調整を行うこと。
- サ 納入物品一式（全品）のリストを書面で 2 部以上及び電子データで提出すること。
- シ 設置工事期間の工程を企業団担当者と事前に打ち合わせ、その指示に従うこと。
- ス 上記アからシまでに関して発生する費用は、全て落札者が負担すること。

2 その他

その他の事項に関して、以下の要件を満たすこと。

- ア 本機器の日本語操作マニュアルを書面及び電子データ（pdf 形式）で提出すること。
- イ 簡易説明マニュアルを書面で 2 部以上及び電子データ（pdf 形式）で提出すること。
- ウ 取扱説明に関する導入時教育訓練は、企業団担当者が指定する日時、場所で行うこと。
- エ 本機器の試運転及び取扱説明に関する導入時教育訓練に必要な消耗品等は、落札者の負担において用意すること。
- オ 納品日以降 1 年間は本機器の性能を無償で保証すること。
- カ 納品日以降 1 年間は故障、保守等の対応を無償で行うこと。
- キ その他、本仕様書に記載のない事項については、適宜、企業団担当者と協議すること。

以上